

試合番号 : 236	試合会場 : 松本市総合体育館	観客数 : 1,130		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:39	試合時間 : 01:39		
主審 : 戸川 太輔	副審 : 来川 知裕			
VC長野トライデンツ	通算 2勝 26敗 ポイント : 10	25 第1セット 20	東レアローズ	通算 18勝 10敗 ポイント : 47
監督コメント 昨日同様、スタートから良い形でゲームに入ることができた。第2セット、昨日の第2セットと同じ形でセット終盤にきたが、選手全員が集中し、耐え抜いてくれた。第3セットも良い集中が最後まで継続し、本当に良く戦い抜いてくれた。選手一人一人を褒めたいと思います。長い連敗が続きましたが、みなさんのご声援のおかげでホームで勝つことができました。また試合は続きますが、今後とも熱いご声援よろしくお願い致します。 2日間、たくさんのご声援ありがとうございました。	3	25 第2セット 20	0	監督コメント VC長野のブロックとディフェンスが素晴らしい、我々の攻撃力を封じられてしまったことが敗因だと思います。来週に向けてはこの部分を修正することが必要だと思います。今日の敗戦は、チームに取って痛い1敗となりますが、これを次に活かせるよう準備してまいります。本日にもたくさんのご声援ありがとうございました。
		25 第3セット 21		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート 昨日に続き、VC長野トライデンツが松本市に東レアローズを迎える対戦。第1セット、序盤はサイドアウトの応酬が続くが、VC長野は工藤のブロックなどでリードを奪う。東レはバダルにボールを集め対抗するが、VC長野はアラウジョ、池田(幸)のスパイクでリードを広げ、最後に工藤がスパイクを決めてセットを先取した。第2セットは東レの高橋、真子の連続ブロックで始まったが、VC長野はアラウジョのサーブで追いつき、下川の巧みなサーブを起点に得点を重ねる。東レも交替して入った米山が得点を挙げて反撃を図るが、VC長野は三輪、波佐間のクイックが効果的に決まり、最後は池田(幸)がブロックを決めてセットを連取した。第3セット、小澤、バダルのスパイクでリードする東レに対し、VC長野は下川の連続ブロックで逆転し、一進一退の攻防が続く。東レはバダル、富田を中心に攻める。東レの強いサーブに苦しむVC長野だったが、池田(幸)、アラウジョ、工藤が難しいトスからのスパイクを決め連続得点を許さない。さらに波佐間のブロックも効果的に決まり、最後はつないだボールをアラウジョが決め、VC長野がこのセットも取り、ストレートで嬉しい2勝目を挙げた。				

試合番号 : 237	試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館	観客数 : 3,069		
開始時間 : 13:05	終了時間 : 15:14	試合時間 : 02:09		
主審 : 中山 健	副審 : 原 啓之			
ジェイテクトSTINGS	通算 15勝 13敗 ポイント : 49	19 第1セット 25	サントリーサンパーズ	通算 22勝 6敗 ポイント : 62
監督コメント まずは粘り強いプレーをみせたサントリーサンパーズを称えたいと思います。最後まで全力で戦ったと思うので、選手たちのことを誇りに思っています。いつも多くのご声援ありがとうございました。引き続きよろしくお願い致します。	1	25 第2セット 21	3	監督コメント 本日もサントリーサンパーズへのご声援ありがとうございました。ジェイテクトSTINGSは選手のケガによる急なメンバーチェンジの後、勝利にこだわり最後まで食らいついてきました。ファイナル4進出をかけたの後半戦に突入していますが、内容もよりハードに、パフォーマンスも気持ちも充実したゲームが増えてくると思います。ファンの皆さまのご声援が選手たちのプレーの後押しになることは間違いありません。それこそがバレー界が望んでいる未来だと思っています。我々サントリーは"PLAY HARD"のスローガンを徹底し、今後ともファンの皆さまと最高のポジションを目指していきます。2日間、アウェーではありましたが、多くのお客様の前でプレーができたこと、素晴らしい環境の中で試合を行えたことに感謝します。ありがとうございました。
		21 第3セット 25		
		18 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート 第1セット、サントリーサンパーズはアラインのサーブサービスから始まり、大宅、ムセルスキーもサーブサービスを取り、点差を4点まで広げる。ジェイテクトSTINGSは柳田、西田のサイドからの攻撃、村山の速攻などで点差を縮めながら中盤へ。コート外に弾かれたボールをリベロ高橋が必死のフライングレシーブで繋いで点差をもぎ取り、ジェイテクトに流れが傾くと思われたが、サントリーは藤中(謙)、ムセルスキー、アラインの強力なスパイクや影のコースをついたサーブで突き放し、サントリーがセットを先取した。第2セット、サントリーは小野のレシーブの間を狙ったサーブで相手守備を崩し、ブロックで得点を稼ぎ、3点差でテクニカルタイムアウトを迎える。ジェイテクトはウルナウトの緩急をつけたスパイクで点を取り、柳田の強打、関田のサーブサービスで逆転する。ここから、サントリー大宅の速いトス回し、ジェイテクト柳田、藤中のブロックをかかわすスパイクで一進一退の攻防となる。終盤にジェイテクトは柳田にトスを集めて攻め切り、セットを奪取した。第3セット、序盤から司令塔対決のようなゲーム展開となる。サントリー大宅の緩急をつながら相手ブロックの的を絞らせないトス回しに対し、ジェイテクト関田はレシーブの乱れにも動じずサイドからバックアタックまで縦横無尽なトス回しで対抗する。終盤に入り、両チームともにサイドからの撃ち合いとなったが、サントリーはムセルスキー、影の連続ブロックで流れを引き寄せ、セットを取った。第4セット、サントリーは強烈なサーブで相手レシーブを乱したのが、ジェイテクトは柳田、ウルナウト、藤中のサイドからのスパイクで攻める。サントリーはセンター、サイドともに速いトス回しの攻撃を軸に攻める。中盤、ジェイテクトはチャレンジを使い流れを変えようとするも、サントリーの勢いを止めることはできず、サントリーが勝利を取った。				

試合番号 : 238	試合会場 : 大浜だいしんアリーナ (堺市立大浜体育館)	観客数 : 938		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:27	試合時間 : 01:27		
主審 : 村中 伸	副審 : 岡田 崇			
堺ブレイザーズ	通算 19勝 9敗 ポイント : 58	18 第1セット 25	ウルブドッグス名古屋	通算 22勝 6敗 ポイント : 62
監督コメント 今日は自分たちのプレーをすることができず、相手に常に主導権を握られたままの戦いでした。修正点を確認し、自分たちのできることにフォーカスし、一人一人がやりきって次の試合に臨みます。ホームゲームでの応援ありがとうございました。来週も応援よろしくお願い致します。	0	21 第2セット 25	3	監督コメント まずは最後まで両チームへご声援を送ってくださった皆さんのバレーボールファンの皆様、また会場以外で本日の試合を見守ってくださった世界中の皆様、本当にありがとうございました。昨日の試合と同様に非常にレベルの高い試合であったために、自分たちのリズムが作れず難しい試合となりましたが、選手達が皆様の応援に後押しされ、最後まで諦めない気持ちで闘い抜いたことは近い未来に繋がると思います。これからも挑戦的な試合が続きますが、その場でしか味わえないその瞬間をエントリオという場所で共に過ごしましょう。2日間、我々ウルブドッグス名古屋へのご声援ありがとうございました。ファンの皆様の応援、全て届いています。ファンの皆様の気持ちを全て受け止めて前に進みます。心から感謝しております。ファンの皆様が健康でありますように。Here and Now... To Be Better Tomorrow
		18 第3セット 25		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート 昨日、フルセットの接戦を制したウルブドッグス名古屋とホームで昨日のリベンジに燃える堺ブレイザーズの一戦。第1セット、序盤から一進一退の攻防となる。この均衡が崩れるきっかけとなったのは、中盤のWD名古屋クレクのブロック。これをきっかけにWD名古屋がペースを握る。堺もバーノンのアタックで攻勢に出ようとしたが、相手の勢いを抑えることはできず、WD名古屋がセットを先取する。第2セット、堺が2連続でブロックを決め、序盤の流れを掴む。その後、終盤まで点の取り合いとなるも、堺の手痛いミスが重なり、徐々にWD名古屋がペースを掴む。山崎のアタック、傳田のブロックが決まり、WD名古屋がセットを連取する。第3セットは序盤からWD名古屋がクレクを軸とした攻撃を展開する。山崎、傳田のブロックが連続で決まり、完全にWD名古屋の流れとなる。中盤、堺は出田の速攻、鶴野のアタックで反撃を見せるも、流れを取り戻すことはできず、WD名古屋がこのセットも取り、試合に勝利した。				

試合番号 : 239	試合会場 : 岩国市総合体育館	観客数 : 1,550		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:54	試合時間 : 01:54		
主審 : 弘中 秀治	副審 : 千代延 靖夫			
JTサンダーズ広島	通算 13勝 15敗 ポイント : 41	19 第1セット 25	パナソニックパンサーズ	通算 18勝 10敗 ポイント : 57
監督コメント 選手を交代して臨んだが思うような結果はついてこなかった。全体的にトランジションの場面で質に波があり、チャンスを生かしきれなかったことが敗因だ。ファンの皆様ご声援ありがとうございました。	1	26 第2セット 24	3	監督コメント 今日大事な勝利で、良いプレーをしていました。第2セットを取られましたが、切り替えて集中して勝てたのは素晴らしいことだと思います。大事な試合が続くので、引き続き応援よろしくお願い致します。
		14 第3セット 25		
		19 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート 昨日のリベンジに燃えるJTサンダーズ広島が、連勝を狙うパナソニックパンサーズをホームに迎える対戦。第1セット、序盤は互いに取っては取られのシーソーゲームで一進一退の攻防が続いた。JT広島はコンビミスが目立つ一方、パナソニックは深津の的を絞らせないトスとクビアク、大塚のスパイクなどでJT広島に流れを渡さず、パナソニックがセットを先取した。第2セット、パナソニックは清水のブロックアウト、クビアクの2連続サーブサービス、ファインレシーブなどでリードする展開。終盤、JT広島はラッセルの強烈なスパイクから流れを掴み試合が大きく動いた。阿部、武智のスパイク、平井のブロックで得点を重ねたJT広島が大逆転でセットを取り返した。第3セット、両チームとも互いのスパイクに食らいつき激しい攻防となったが、終始パナソニックの流れで試合が進んだ。巻き返したいJT広島はセッター合田や、山本を投入するもミスが目立ち、パナソニックがこのセットを制した。第4セット、序盤からパナソニックは清水のスパイク、山内のブロックで点差を広げた。後がないJT広島は武智の技ありのスパイクで粘り強く得点を重ねたが、パナソニックが効果的なサーブでクイックを封じ、連続得点で突き放した。最後は途中交代の西山がスパイクを決め、セットカウント3-1でパナソニックが勝利した。				

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

試合番号 : 240		試合会場 : サイクルショッププロダム大洲アリーナ (大分市大洲総合体育館)				観客数 : 643	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:20		試合時間 : 02:20		主審 : 平田 敬基	
副審 : 山本 晋五		通算		4勝 24敗		通算	
大分三好ヴァイセアドラー		ポイント : 11		20 第1セット 25		東京グレートベアーズ	
監督コメント		3		21 第2セット 25		2	
第1、第2セットを取られた場面から、選手達が非常に良く頑張ってくれました。特に第4、第5セットは、序盤のビハインドの場面から、集中力の高いブロックとディフェンスで諦めずプレーし続けたことが勝利に繋がったと思います。途中出場の手も含め、全ての選手が自分の役割をこなしてチーム一丸となったことも良かったです。大分でのホームゲームも残り2試合です。たくさんの方に観てもらえるよう残りの試合も頑張ります。				25 第3セット 20		監督コメント	
				25 第4セット 23		セットカウント2-0の状況から、我々の勝ちに対しての甘さが出てしまった試合となりました。大分三好の粘りは素晴らしい結果となりましたが、この悔しさを取り返せるよう一致団結して、次の試合に臨みます。2日間応援ありがとうございました。	
				16 第5セット 14			
要約レポート							
第1セット、両チームのセッターがバックアタックを有効に活用し中盤まで得点を重ねていく。終盤、東京グレートベアーズは栗山の緩急をつけたサーブで大分三好ヴァイセアドラーの守備陣を崩すと、相手のミスにも助けられ、そのままセットを先取る。第2セット、序盤から東京GBは山田のブロックを足がかりに、栗山、アラウジョの攻撃で大分三好を突き放す。大分三好はセッターを井口に替えるとセンター川口が躍動し、中盤に追いつく。しかし、東京GBは途中出場の戸着のサービスエースを皮切りに徐々に点差を引き離し、戸着、アラウジョのバックアタックも要所で決まり、セットを連取る。第3セット、後がない大分三好は息を吹き返し、川口のセンターからのアタックが連続で決まると、川口、安部のブロック、モゲニの攻撃も決まり会場が盛り上がりを見せる。終盤、大分三好はモゲニにボールを集めると、モゲニはアタック、ブロック、サーブに大車輪の活躍を見せ、大分三好がセットを奪い返す。第4セット、東京GBはアラウジョの攻撃、小田嶋の緩急をつけたサーブで一気に流れを掴むと、序盤から5連続得点を奪い大分三好を引き離す。拮抗した展開となるが、大分三好は小野のサーブで相手守備陣を崩し、逆転に成功する。終盤、大分三好は安部、山田の連続ブロックが決まり、フルセットに持ち込む。第5セット、お互いのエース同士の打ち合いで中盤まで点の取り合いとなるが、東京GBは長いラリーを張るの攻撃で仕留める。東京GBに流れが傾くと思われたが、終盤に大分三好が逆転すると、モゲニのエンドラインギリギリのサービスエースが決まり、最後は東京GBアラウジョのアタックを安部がブロックし、大分三好がホームで勝利を掴み取った。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
		ポイント :		-		ポイント :	
監督コメント				第1セット		監督コメント	
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
		ポイント :		-		ポイント :	
監督コメント				第1セット		監督コメント	
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
		ポイント :		-		ポイント :	
監督コメント				第1セット		監督コメント	
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							